

文：高瀬徹朗 *Takase Tetsuro*

本誌放送アナリスト・ワンセグウォッチャー

先日、「e2 by スカパー！」プロ野球セットを契約している知人に「もうすぐJ SPORTSがBSで始まるよ」と教えたところ、「え、ならJスポ無料になるの!？」とご機嫌な応えが返ってきた。当初からBS有料放送を行っているWOWOWやスター・チャンネル、新BS参加各社の皆さま、どうやら世間の認識はCS加入者ですら、この程度です。より一層のPR、というより説明強化をお勧めします。それではチェック、スタート。

サッカー女子ロンドン五輪予選をチェック なでしこの激闘をデータ放送とともに

定着したオーバーレイ表示

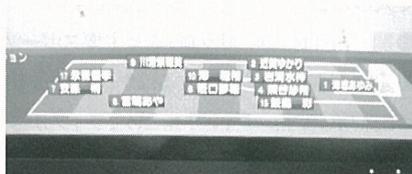
ロンドン五輪出場をかけ、厳しい日程を戦い抜いたサッカー女子日本代表「なでしこJAPAN」。その激戦の様子はNHK総合テレビが全試合放送、平日夕方が多かったにも関わらず、なかなか視聴率を稼いだ。

固定端末向け連動は、W杯から採用していたオーバーレイ強制表示を今回も採用。「強制」といっても、当初表示されるのは「青・メニュー」「黄・NHKトップ」「d・表示を消す」だけで、青ボタンを押すことで第二段階表示へと遷移する形だ。

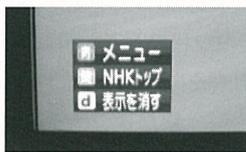
第二段階は、オーバーレイでのメニュー一覧。「出場選手」「交代・退場」「得点」「フォーメーション」「試合データ」の5つは上下選択式のメニューで、さらに「緑・大会情報」と黄色・dボタン(中はトップと同じ)が表示されている。

「出場選手」から「試合データ」までは、選択した内容がやはりオーバーレイで表示される形。「出場選手」はピッチ上にイレブンが一覧表示され、選手名を選択すると小さなポップアップで簡単なプロフィール(生年月日や身体データ、所属チームなど)が表示されるシンプルな構成だ。

「フォーメーション」は、ピッチを模したデザインにフォーメーションがフルネームで紹介される内容で、オーバーレイ表示のデータ放送としてはかなり大胆に画面下部を使っている印象。選手名も背番号とフルネームだけのシンプ



「フォーメーション」は大胆な表示だがオーバーレイ



当初表示されるメニューはこれだけ

ルな表示で、さほどサッカーを知らない視聴者にも伝わりやすそうだ。

「交代・退場」「得点」「フォーメーション」「試合データ」はいずれもテキスト中心のデータ。先の2コンテンツもそうだが、リモコン左右ボタンで表示チームを素早く切り替えられる設定は使いやすい。

全体として、データ放送オーバーレイ表示を大胆かつ上品に使いこなしている印象。情報は少なすぎず、なおかつ画面をうるさくしすぎずというバランスがしっかりと取れているように思う。

スマホなら使いやすいワンセグ

放送時間帯から、ワンセグの活躍場面も多いかと思われた今回の大会だが、NHKワンセグの構成は極めてシンプル。とりたてて「ワンセグならでは」というコンテンツはないが、強いて言えば、選手名鑑に写真がある、ということだろうか(1次リンク)。

ただ一点、その名鑑で選手を選ぶ際、

やはりスマートフォンだと動きがスムーズだ。表示上は両軍が2列に並んでいるが、従来のワンセグデータ放送では十字キー左右が効かないため、下を押しても真横にカーソル移動するなど使いにくさが残る。

タッチパネルで任意にカーソル移動できるという点において、やはりワンセグデータ放送とスマホは相性が良いと感じた。

新BSとデータ放送の 意外な相性

10月1日の新BS開始にあたり、3チャンネル体制がスタートするWOWOW。サービスの詳細については当該特集ページを参照していただくとして、ここで注目するのは「データ放送を活用したチャンネル切り替え機能」の採用だ。

簡単に説明すると、WOWOWの持つ3チャンネルいずれかにチューニングされている状態であれば、リモコン色ボタンで残る2チャンネルに切り替えることができる、という機能。色ボタン青が「プレミアム」、赤が「シネマ」、緑が「ライブ」という割り振りだ。

ポータルの役割を持つメインチャンネル「プレミアム」は、BS9chというユーザーインターフェイス上で有利な割り当てを持っている。一方、残る二つは他のBS事業者にたがわず3桁(192、193)で、リモコン操作のハードルもなかなか高い。

その課題をクリアしたのが、この「色ボタンチャンネル切り替え」というわけだ。これにより、マルチチャンネル切り替えの不利はほぼなくなった。聞くところによれば、スター・チャンネルでも同様の取り組みがあるとか。思わぬ場面でデータ放送が脚光を浴びたかたまただ。